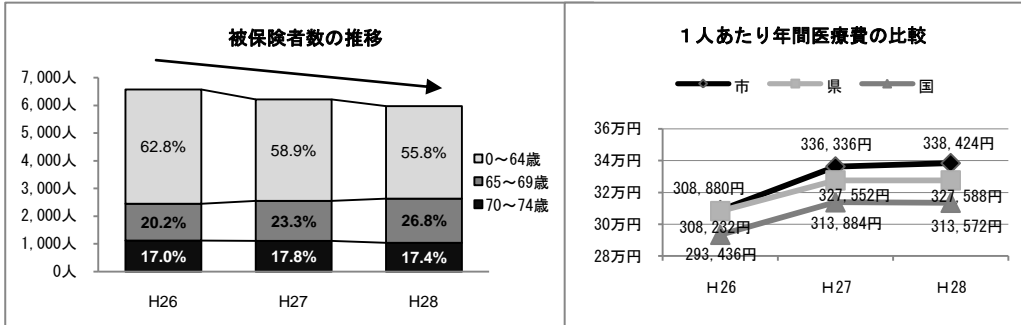


第2期 村山市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画） 概要版

診療報酬明細書（レプト）や、健診情報等のデータ分析に基づいた平成35年度（2023年度）までの国民健康保険被保険者を対象とした保健事業計画を策定します。

①分析によると・・・



- 年々、被保険者数は減少しており、65歳以上の高齢化率や1人あたりの医療費は増加。
- 医療費やレプト件数をみると、高血圧症、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病が多い。
- 生活習慣病の保有者率は46.3%で年々増加しており、県42.5%よりも数値が高い。
- 1件30万円を超える高額レプトを集計すると、悪性新生物による医療費が最も多い。
- 人工透析の導入は身体的負担が大きく、医療費も高額。
- 40～50歳代の特定健診受診率、特定保健指導実施率が20～40%台とまだ低い。
- 健診の問診項目では、運動習慣がある方、生活習慣の改善意欲がある方の割合が低い。

②計画の方向性

- 健康寿命を延ばし、自立して健康的な生活を送るためには、健診や運動等をとおして疾病の発症と重症化を予防することが重要。
- 保健事業を行うためには、国保財政の健全化が必要であり、被保険者自身が健康づくりに取り組むことで医療費の増大を抑制することも重要。

③目的・目標の設定

- 【目 標】被保険者の健康増進
- 【中 目 標】・各種健診(検診)に係る受診率と終了率の向上
 - ・生活習慣病と重症化の予防
 - ・医療費の減少
- 【数値目標】特定健診受診率 60%、特定保健指導終了率 60%、生活習慣病保有者率 40%以下、新規透析導入者数 0 人、30分以上の運動習慣がある方の割合 50%以上、1人当年間医療費県平均額以下など

④目的・目標を達成するために行う保健事業

- 特定健診・保健指導…内臓脂肪に着目した健診により対象を判定し、特定保健指導により生活習慣病予防、改善につなげます。
- 未受診者対策・・・健診を申込んでいない方等へ受診勧奨を行います。
- 無料人間ドック・・・健康管理への意識及び健診への関心を高めるため、40歳になる方に無料の人間ドックを実施します。
- 若年健診・指導・・・30歳代の方に受診機会を拡大し、健康維持の意識を高め、生活習慣病予防やより良い生活習慣の確立を図ります。
- 各種がん検診・・・当市死因第1位であるがんの早期発見・治療につなげます。
- 歯周疾患検診・・・対象年齢と受診機会を拡大し、歯と体全体の健康につなげます。
- 国保健康づくり事業…市民の方が、自分自身の健康を守り健康寿命の延伸を目指す取り組みを支援します。
- ジェネリック薬差額通知…ジェネリック医薬品に切り替えた場合の軽減額をお知らせします。

⑤事業の実施と見直し

目標の達成状況を評価し、改善しながら各保健事業を実施し、中間評価を経て6年毎に計画を改訂します。